

2016年				2017年											2018年																																																						
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月	4月	5月	6月	7月	~10月	11月																																												
NEW 講義形式(3時間／1回) ①基礎講座《全体構造編》 全5回				講義形式(3時間／1回) ②基礎講座《主要4科目編》 全92回 ● 民法・不動産登記法(60回) ● 商法・商業登記法(32回)											講義形式(3時間／1回) ③基礎講座《マイナー科目編》 全31回 ● 民事訴訟法・民事執行法・民事保全法・供託法・司法書士法(18回) ● 憲法(6回) ● 刑法(7回) 合格するためにはマイナー科目も大切な得点源です。主要4科目で知識の土台を固めた後に学習するので、効率的に知識を深められます。											講義形式(3時間／1回) NEW ⑨直前! 択一式Skill Up講座 全10回 直前期に択一式の得点力をさらに上げるため、重要論点の復習から、本試験での心構えまで、最後までSkill Upする方法を伝授します。											平成30年度司法書士筆記試験合格発表 平成30年度司法書士試験 最終合格発表 合格																																
学習初期に司法書士試験の全体について学び、その後の学習をスムーズに進めます。				主要4科目は週2～3回の講義ペースで実施。司法書士試験のベースとなる4科目の基礎知識をじっくり学習、理解することができます。											基礎講座で学習した知識を問題演習と解説講義を通して本試験に対応できる「記述式」の答案作成能力を身につけます。											講義形式(3時間／1回) ④基礎講座《記述式対策編》 全18回 ● 不動産登記法(10回) ● 商業登記法(8回)											これまで学習してきた知識・解法を試すことができる模試です。成績判定も行いますので、直前期の学習の足がかりとしてください。											出題可能性のある問題をバランスよく出題します。記述式も毎回出題し、解答力をアップさせることができます。											本試験と同形式、同時間帯で実施。受験経験者と一緒に受ける模擬試験で、実力を確認できます。										
☑新・でるトコー問一答 民法・不動産登記法・商法・商業登記法・民事訴訟法・民事執行法・民事保全法・供託法・司法書士法・憲法・刑法 ※「新・でるトコー問一答」は自宅復習用教材																																																																					
基礎講座の理解度を演習で確認し、早い段階から本試験形式の問題を解くことで実戦力も身につけていきます。				演習(1.5時間／1回)→解説講義(2時間／1回)・Webホームルーム(1時間／1回) ⑤到達度テスト・NEW Webホームルーム 全5回 ● 択一式 ※自宅学習カリキュラムです。																								模試→解説講義 ⑥全国実力Check模試 全1回				答練→解説講義 ⑦早稲田合格答練ジャンプ答練 全6回				模試→解説講義 ⑧全国公開模試 全3回																																	

※教室講座でご受講の場合も、「到達度テスト解説講義・Webホームルーム」は個別DVD講座またはWebでの受講となります。 ※「全国実力Check模試」、「早稲田合格答練ジャンプ答練」、「全国公開模試」の日程は2018年1月下旬発行予定の案内書をご覧ください。 ※上記カリキュラム図は2016年10月入学の実施イメージです。 ※上記内容は事前の予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。